



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

## 土砂災害防止月間の合同パトロールを実施しました

6月の土砂災害防止月間に合わせ、土砂災害危険箇所の合同パトロールを実施しました。土砂災害危険箇所の情報共有と緊急時の迅速な対応に役立てるため、また対策工法について専門家のアドバイスをいただくため、毎年実施しているものです。

### ◆6月17日 ～ 砂防ボランティア協会と合同で砂防施設等点検 ～

長野県砂防ボランティア協会の皆さんと、神城断層地震後の砂防施設に新たな変状が発生していないか確認しました。（2箇所 横根沢[砂防]、光明[地すべり]）

特に、横根沢の崩壊地を確認するために、道なき道を歩き、調査をしていただき、砂防ボランティアの皆様には、本当にありがとうございました。

### ◆6月27日 ～ 土砂災害危険箇所合同パトロール ～

警察・消防など関係機関から21名が参加し、白馬村、小谷村の2班に分かれて国、県、村の土砂災害危険箇所（10箇所）の現状把握や対策予定などの情報交換を行いました。



小谷村 横根沢



白馬村 南股入川

## 村との意見交換会・現地調査を実施しました

5月10日に小谷村役場で、18日には白馬村役場において、砂防事業を円滑に実施するために村の担当者との意見交換会を開催いたしました。

この意見交換会は毎年5月と10月に実施していますが、今回当所からは当年度事業の予定について説明を行い、役場からは地域住民の要望についての話を聞き、個々の箇所について現地の具体的な状況や事業施行上の課題、その解決方法や今後の進め方などの意見を交換しました。

新たな要望箇所のうち、緊急性・必要性の高い箇所については、今後速やかに対応していきます。



左側：小谷村 坪の沢  
右側：白馬村 滝沢川

## JICAホンジュラス研修の視察がありました

5月13日、JICA(独立行政法人国際協力機構)の首都圏における「地すべり対策能力強化」支援の一環でホンジュラス研修員の方々から10名が白馬村倉下地区の地すべり対策事業の現場を視察しました。

現地では、地すべり活動の活発だった平成10年度ころからの対策工事実施等の経緯を説明し、その後白馬村役場で意見交換を行いました。通訳を介しての説明は難しかったのですが、皆さん熱心に理解に努めていただき、多くの質問や意見も出て、こちらとしても非常に有意義な時間を過ごすことができました。また、当日の天気は快晴で、皆さん白馬の素晴らしい景色も堪能されていました。



## 宮澤県議が現地調査を実施しました

4月27日、宮沢敏文長野県議会議員の事業箇所現地調査が行われました。神城断層地震による被災箇所の復旧工事が着実に進んでいることを1日かけて確認し、現地で出会った住民の方々の意見にも真剣に耳を傾けていました。



～土砂災害に迅速かつ的確に対応できる技術者の育成を目指して～

## 長野県砂防技術者継続学習支援プログラムを開催しました

6月21日、建設事務所及び砂防事務所の10名の職員を対象に「長野県砂防技術者継続学習支援プログラム」を当事務所にて開催しました。このプログラムは近年多発する様々な土砂災害に対し、より実践的・的確な対応ができる技術者育成と数々の大災害に対応してきた経験豊富な職員が有する技術力の継承を目的として、本年度より取り組むことになりました。危険箇所点検に関する室内研修と現地研修の後、意見交換を行いました。参加してよかったという声が多くあり、開催事務所としては一安心いたしました。一方、「受講者のスキルアップも必要」との意欲的な発言もあり、次回以降の研修ではより専門性の高い内容を考えなければならぬと感じました。なお、余談ですが、受講者、講師及び事務局の全員で食べた地元のお蕎麦は大変美味しかったことを付け加えておきます。

